

一般質問Q&A

新風会・公明
議員
竹内和順



○ 森林環境保全について ○ 市行政と勝山高校の協働について

その他の質問

・第6次勝山市総合計画について 他

問 平成31年に、森林環境税および森林環境譲与税が創設され、市町村による森林整備に必要な財源が確保できるようになり、森林所有者の意向調査がどのくらい進んでいるのか。

答 また、森林経営管理制度を取り入れた森林管理システムの一新で伐採や造林等整備事業の現況を伺う。

問 市では、令和2年度から令和11年度にかけて市内全域の森林所有者に意向調査を実施していくが、令和2年度は森林所有者107名、364筆、令和3年度は森林所有者162名、535筆について意向調査を行っている。

答 意向調査により、所有者から経営管理の委託の申し出を受けて、順次、経営管理集積計画、経営管理実施権配分計画の策定に向け協議を進めていく。自然的条件等で林業経営に適さない森林は、市の森林経営管理事業において管理コストの低い針広混交林への移行を図っていくなど、市内森林区域の適正な管理に努めていく。

問 なお、森林環境譲与税の使途は、森林の適正な整備や管理を効率的に行うためには欠かせない事業のほか、例えばジオサイト等へのアクセス道路としても必要となる林道整備等に充て、持続可能な森林環境保全に努めたい。

答 理を効率的に行うためには欠かせない事業のほか、例えばジオサイト等へのアクセス道路としても必要となる林道整備等に充て、持続可能な森林環境保全に努めたい。

問 小中学校までは勝山市立の小中学校で、勝山高校は県立で、市とは切り離されがちだが、地方創生における高校の価値が改めて示される中、市町村としても高校を核とした地方創生に取り組む必要性が示唆されている。

答 高校と自治体行政との協働についての市の見解を伺う。

問 勝山高校は、来春より「探究特進科」を新設するが、市は探究活動における地域課題として、市内企業や地場産業の活性化等のテーマも取り上げてもらい、市内企業等と勝山高校との連携に関して積極的に関与していく。

答 勝山高校と地域が協働・連携していく中で、生徒と企業等の間を橋渡し役としてサポートするコーディネーターの存在も重要で、現在、その人材確保について勝山高校と協議している。

一般質問Q&A

新風会・公明
議員
安岡孝一



○ 「多重介護」の介護者の支援について ○ 「コロナワクチン」3回目の接種について

その他の質問

・超高齢社会における「フレイル予防策」の強化について 他

問 実の親と義理の親や親と配偶者など、1人で複数の家族を介護する「多重介護」を行っている方の中には、仕事と介護の両立に悩み、離職するケースもある。介護者の収入が途絶えてしまうと負のスパイラルは加速し、経済的に行き詰ってしまう。

答 勝山市でも多重介護の問題について相談できる体制が必要ではないか。また、アウトリーチやいろいろな機会を通して声をしていくことが大事ではないか。

問 多重介護の勝山の現状と介護者の今後の対策を伺う。

答 高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターには介護に関する様々な相談が寄せられている。介護者だけでなく、民生委員や近所の方など地域で見守りをされている方が介護者を心配して相談に来られる場合もある。

問 ケアマネジャーが毎月の家庭訪問等に、介護で気がかりな点がある場合やケアプランを作成する際には、市が作成したアセスメントシートを用いて客観的に介護負担を把握し、負担が重いと判断した

場合は、介護負担が軽減できるよう、ケアマネジャーと連携をとって、サービスを調整していく。

問 3回目のワクチン接種について、新型コロナウイルスワクチン接種が進んだこともあり、国内の新規感染者数は急速に減少しているが、海外の研究では時間の経過とともに2回目接種完了の「おおむね8か月以上後から行う」と明記されている。

答 3回目のワクチン接種の計画や実施について、市民に分かりやすく広報等で説明をお願いしたい。

問 12月2日から福井勝山総合病院で医療関係者に対する接種を開始し、順次3回目のワクチン接種を進めている。

答 国が同じメッセージRNAワクチンであるモデルナ社製ワクチンとファイザー社製ワクチンとの交互接種を認めている点、従来との大きな違いである。

問 詳細については、確定した事項から毎月の広報や公式ホームページ等を通じて情報提供していく。